

千葉市企業動向調査  
第12回  
(2024年度第2回)

千葉市  
2024年9月

## 【目次】

1. 調査概要	3
(1) 調査目的	3
(2) 調査対象	3
(3) 調査時期	3
(4) 調査方法・件数	3
(5) 調査機関	3
(6) 報告書を読むに当たっての注意点	4
2. 千葉市内企業の景況	6
(1) 業況判断	6
① 業況判断	6
② 今期の業況判断の理由	8
③ 来期の業況判断の理由	9
(2) 主要項目のBSⅠ・DI	10
① 売上BSⅠ	11
② 経常損益BSⅠ	12
③ 資金繰りBSⅠ	13
④ 人材過不足DI	14
⑤ 生産設備DI	15
⑥ 営業用設備DI	16
(3) その他項目のBSⅠ・DI	17
① 国内需要BSⅠ	18
② 仕入価格BSⅠ	19
③ 販売価格BSⅠ	20
④ 人材採用DI	21
(4) 設備投資に関する現況	22
① 設備投資	22
●資料編	23
(1) 調査票	23
(2) 同封チラシ	25

# 1. 調査概要

## (1) 調査目的

千葉市内の企業や事業所の業績の推移やビジネスの方向性、課題などを把握することにより、効果的な支援策等を企画する際の一助とするため、アンケート調査を「企業動向調査」として実施する。

## (2) 調査対象

千葉市に本社を置く企業とする。調査対象数は1,000件とし、総務省・経済産業省「令和3年経済センサス活動調査」における千葉市内の企業数の業種別及び規模別の割合に合致するよう、総務省の事業所母集団データベースより業種・規模毎に無作為抽出した。

※第11回調査（前回）から、調査対象とする企業の抽出元のデータベースや企業属性、抽出方法、企業数を変更した。

### 【調査対象件数・アンケート調査回収数内訳】

	件数	回収数	回収率	
全体	1,000	411	41.1%	
業 種 別	製造業	66	24	36.4%
	非製造業	934	387	41.4%
	建設業	205	89	43.5%
	運輸・通信業※1	61	12	19.7%
	卸・小売業	214	87	40.6%
	飲食・宿泊業	50	16	31.8%
	サービス業※2	187	90	48.0%
	その他非製造業※3	217	93	42.9%

※1 運輸・通信業：「G. 情報通信業」、「H. 運輸業、郵便業」

※2 サービス業：「L. 学術研究、専門・技術サービス業」、「N. 生活関連サービス業、娯楽業」、「Q. 複合サービス事業」、「R. サービス業（他に分類されない）」

※3 その他非製造業：「A. 農業、林業」、「F. 電気・ガス・熱供給・水道業」、「J. 金融業、保険業」、「K. 不動産業、物品賃貸業」、「O. 教育、学習支援業」、「P. 医療、福祉」

## (3) 調査時期

2024年7月31日（水）～8月23日（金）

## (4) 調査方法・件数

郵送調査及びWEB調査 1,000件 回収数 411件（回収率 41.1%）

## (5) 調査機関

株式会社ちばぎん総合研究所 調査部

## (6) 報告書を読むに当たっての注意点

- 報告書本文中の比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位以下を四捨五入している。そのため単一回答であっても構成比の合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答の設問は、回答が2つ以上あり得るため、構成比の合計が100%を上回る場合がある。
- 図表中の「N」(Number of casesの略)とは設問に対する回答件数の総数を示しており、回答者の構成比(%)を算出するための基数である。
- 図表中の全体件数とは各設問に回答した件数であり、属性情報について未回答の企業もいるため、全体件数と規模別や業種別の件数が合致しない場合がある。
- BSI(Business Survey Index)とは、前期と比較した調査時点における景気の「方向性」を示した景況判断指数であり、景気の足元及び先行きを捉えることができる指数である。例えば業況の場合、数値がプラスであれば景気の見通しは上向きの局面、マイナスであれば景気の見通しは後退の局面と判断している企業が多いということが分かる。そのため、本報告書では四半期単位の短いスパンで認識に変化があらわれる調査項目において対象としている。(例:売上、経常損益、資金繰り等)  
 なお、本報告書におけるBSIの前期、今期、来期の各期間は以下のとおり。  
 前期:2024年1~3月期  
 今期:2024年4~6月期  
 来期:2024年7~9月期
- DI(Diffusion Index)とは、調査時点における景気の「現状(水準)」を示した景況判断指数であり、足元の景気の動向を捉えることができる指数である。例えば業況の場合、数値がプラスであればその時点の景気は拡大、マイナスであれば景気は縮小と判断している企業が多いということが分かるため、本報告書では半期単位の長いスパンで認識に変化があらわれる調査項目において対象としている。(例:人材過不足、生産設備、営業用設備等)  
 なお、本報告書におけるDIの前期、今期、来期の各期間は以下のとおり。  
 前期:2024年1~3月期  
 今期:2024年4~6月期  
 来期:2024年7~9月期
- 本報告書における従業員規模別の区分については、中小企業基本法の定義において卸売業、サービス業、小売業で小規模事業者とされる「5人以下」、製造業その他で小規模事業者とされる「6人~20人」、中小企業である「21人以上」の3つの区分としている。
- 第11回調査(前回)より、調査対象とする企業の抽出元のデータベースや企業属性、抽出方法、企業数を、以下のとおり変更した。

	第10回調査まで	第11回調査(前回)以降
データベース	株式会社東京商工リサーチの企業情報データベース	総務省の事業所母集団データベース
企業属性	千葉市に本社を置く企業及び千葉市に事業所を置く企業	千葉市に本社を置く企業
抽出方法	無作為抽出	総務省・経済産業省「令和3年経済センサス活動調査」における千葉市内の企業数の業種別及び規模別の割合に合致するよう無作為抽出
企業数	2,000社	1,000社

※本報告書 P6 以降のコメントにおける形容詞等の記載ルールについては以下のとおり。

- ±20 ポイント以上: 「極端に」
- ±20 ポイント未満 6 ポイント以上: 「大きく」
- ±6 ポイント未満 2 ポイント以上: 「やや」
- ±2 ポイント未満: 「同様」

**【参考】第 12 回調査回答企業の業種別及び規模別の割合**

・第 12 回調査の回答企業と抽出企業（経済センサスの割合）を比較すると、業種別、規模別とも、いずれの割合も差異は±5 ポイント未満となっており大きな乖離はない。

○第12回調査の回答企業と抽出企業の比較

	第12回調査回答企業		第12回調査抽出企業 (経済センサスの割合)		A-B (単位:ポイント)	
	実数	割合 (A)	実数	割合 (B)		
全体	411	100.0%	1,000	100.0%	0.0	
業 種 別	製造業	24	5.8%	66	6.6%	▲ 0.8
	非製造業	387	94.2%	934	93.4%	0.8
	建設業	89	21.7%	205	20.5%	1.2
	運輸・通信業	12	2.9%	61	6.1%	▲ 3.2
	卸・小売業	87	21.2%	214	21.4%	▲ 0.2
	飲食・宿泊業	16	3.9%	50	5.0%	▲ 1.1
	サービス業	90	21.9%	187	18.7%	3.2
	その他非製造業	93	22.6%	217	21.7%	0.9
規 模 別	5 人以下	280	68.1%	659	65.9%	2.2
	6 人～20人	69	16.8%	207	20.7%	▲ 3.9
	21人以上	62	15.1%	134	13.4%	1.7

・第 12 回調査回答企業と調査対象を変更する前の第 10 回調査回答企業を比較すると、第 12 回調査回答企業は業種別では建設業の割合が相対的に高く、その他非製造業の割合が相対的に低い。また、規模別では、5 人以下の割合が 26.9 ポイント高く、6 人～20 人と 21 人以上の割合が低くなった。

○第12回調査回答企業と第10回調査回答企業の比較

	第12回調査回答企業		第10回調査回答企業		A-C (単位:ポイント)	
	実数	割合 (A)	実数	割合 (C)		
全体	411	100.0%	672	100.0%	0.0	
業 種 別	製造業	24	5.8%	29	4.3%	1.5
	非製造業	387	94.2%	643	95.7%	▲ 1.5
	建設業	89	21.7%	74	11.0%	10.6
	運輸・通信業	12	2.9%	28	4.2%	▲ 1.2
	卸・小売業	87	21.2%	169	25.1%	▲ 4.0
	飲食・宿泊業	16	3.9%	41	6.1%	▲ 2.2
	サービス業	90	21.9%	138	20.5%	1.4
	その他非製造業	93	22.6%	193	28.7%	▲ 6.1
規 模 別	5 人以下	280	68.1%	277	41.2%	26.9
	6 人～20人	69	16.8%	223	33.2%	▲ 16.4
	21人以上	62	15.1%	165	24.6%	▲ 9.5

## 2. 千葉市内企業の景況

### (1) 業況判断

#### ① 業況判断

業況判断BSIは、前期から7.5ポイント上昇した  
来期は今期から11.7ポイント低下する見通し

#### 【ポイント】

- 業況判断BSIは、前期▲23.5から今期▲16.0へと厳しさが大きく弱まった。
- 先行きについてみると、来期（2024年7～9月）は▲27.7と厳しさが大きく強まる見通しである。さらに来々期（2024年10～12月）は▲23.1と厳しさがやや弱まる見込みである。
- 従業員規模別にみると、21人以上で前期▲8.3から今期8.0へと好調感が大きく強まった。
- 業種別にみると、運輸・通信業（▲35.8→8.3）、飲食・宿泊業（▲28.6→6.2）で好調感が大きく強まった。

#### 【業況判断BSI】







	業況判断BSI=良い%-悪い%						
	2024年 1～3月 実績	2024年 4～6月 実績		2024年 7～9月 見通し		2024年 10～12月 見込み	
			今期-前期		来期-今期		
全体	▲23.5	▲16.0	7.5	▲27.7	▲11.7	▲23.1	
規模別	5人以下	▲28.7	▲23.3	5.4	▲34.6	▲11.3	▲30.4
	6人～20人	▲15.5	▲8.7	6.8	▲14.5	▲5.8	▲18.8
	21人以上	▲8.3	8.0	16.3	▲11.3	▲19.3	4.9
業種別	製造業	▲40.0	▲29.1	10.9	▲50.0	▲20.9	▲41.6
	非製造業	▲22.7	▲15.3	7.4	▲26.3	▲11.0	▲22.0
	建設業	▲19.2	▲19.1	0.1	▲25.8	▲6.7	▲20.2
	運輸・通信業	▲35.8	8.3	44.1	▲8.4	▲16.7	▲16.7
	卸・小売業	▲39.7	▲26.5	13.2	▲31.0	▲4.5	▲29.9
	飲食・宿泊業	▲28.6	6.2	34.8	▲68.7	▲74.9	▲25.0
	サービス業	▲14.5	▲18.9	▲4.4	▲28.9	▲10.0	▲20.0
	その他非製造業	▲17.4	▲4.3	13.1	▲15.0	▲10.7	▲18.2

【従業員規模別、業種別動向】

	2024年 1～3月 前期実績	2024年 4～6月 今期実績	2024年 7～9月 来期見通し	2024年 10～12月 来々期見込み
5人以下	 ▲28.7	 ▲23.3	 ▲34.6	 ▲30.4
6人～20人	 ▲15.5	 ▲8.7	 ▲14.5	 ▲18.8
21人以上	 ▲8.3	 8.0	 ▲11.3	 4.9
製造業	 ▲40.0	 ▲29.1	 ▲50.0	 ▲41.6
非製造業	 ▲22.7	 ▲15.3	 ▲26.3	 ▲22.0
建設業	 ▲19.2	 ▲19.1	 ▲25.8	 ▲20.2
運輸・通信業	 ▲35.8	 8.3	 ▲8.4	 ▲16.7
卸・小売業	 ▲39.7	 ▲26.5	 ▲31.0	 ▲29.9
飲食・宿泊業	 ▲28.6	 6.2	 ▲68.7	 ▲25.0
サービス業	 ▲14.5	 ▲18.9	 ▲28.9	 ▲20.0
その他非製造業	 ▲17.4	 ▲4.3	 ▲15.0	 ▲18.2

※前期から今期、今期から来期にかけてBSIで10ポイント以上差がある業種については、矢印を表記している。

※天気マークの基準は以下の図のとおり。

天気						
BSI	20.0以上	19.9～6.0	5.9～0.0	▲0.1～▲5.9	▲6.0～▲19.9	▲20.0以下

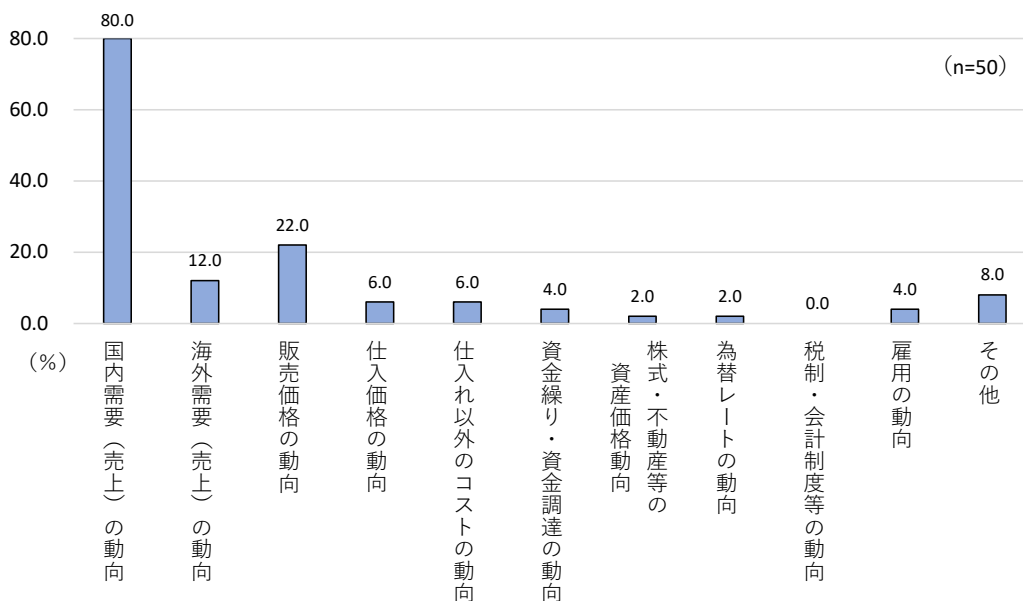
## ② 今期の業況判断の理由

今期の業況判断BSI算出の基となった、「業況」に関する質問において、業況が「良い」と回答した理由をみると、「国内需要（売上）の動向」が80.0%と最も高く、次いで「販売価格の動向」が22.0%、「海外需要（売上）の動向」が12.0%であった。

一方、業況が「悪い」と回答した理由をみると、「国内需要（売上）の動向」が51.8%と最も高く、次いで「仕入価格の動向」が47.4%、「販売価格の動向」が26.3%であった。

### 【今期の業況判断の理由】 ※複数回答

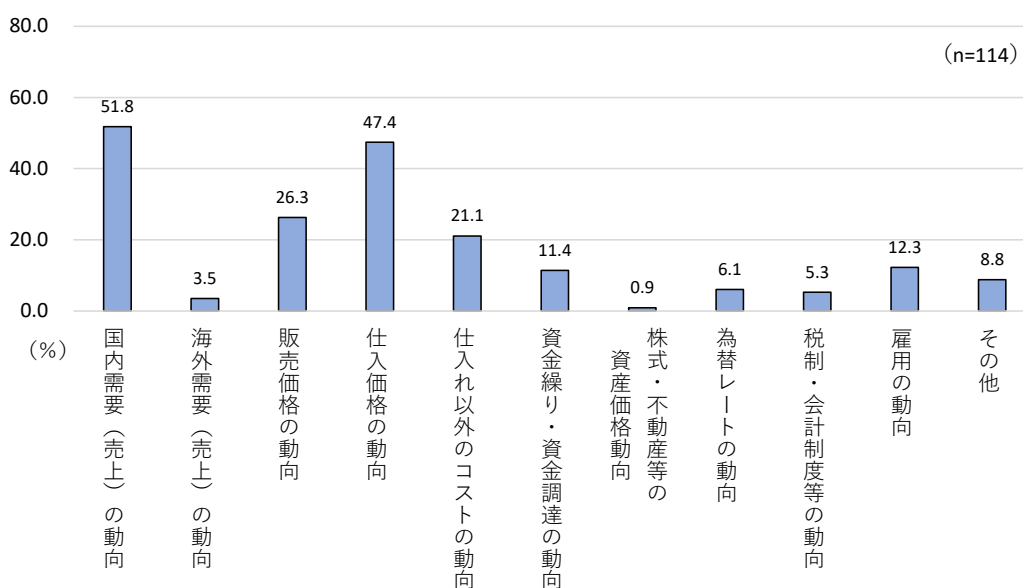
#### 「良い」と回答した理由



※業況判断の理由を明確化させるため、無回答は除いて集計・作表している。

※「その他」の記入内容：「季節的な要因」、「人材不足による値上げ基調」、「天候・気温の変化」、「入居率」

#### 「悪い」と回答した理由



※業況判断の理由を明確化させるため、無回答は除いて集計・作表している。

※「その他」の記入内容：「売上げの減少」、「患者様の減少」、「入札受注減」、「技術売上」、「人件費の上昇」、「人材不足による値上げ基調」、「消費税」、「体調」、未記入2件



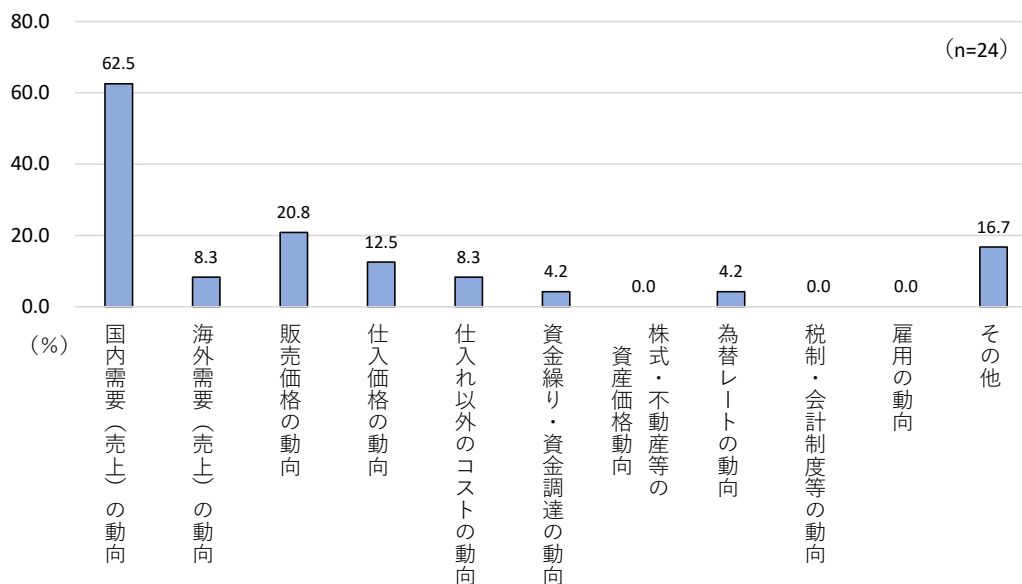
### ③ 来期の業況判断の理由

来期の業況判断BSI算出の基となった、「業況」に関する質問において、業況が「良い」と回答した理由をみると、「国内需要（売上）の動向」が62.5%と最も高く、次いで「販売価格の動向」が20.8%、「仕入価格の動向」が12.5%であった。

一方、業況が「悪い」と回答した理由をみると、「国内需要（売上）の動向」が47.7%と最も高く、次いで「仕入価格の動向」が46.9%、「仕入れ以外のコストの動向」が26.6%であった。

#### 【来期の業況判断の理由】 ※複数回答

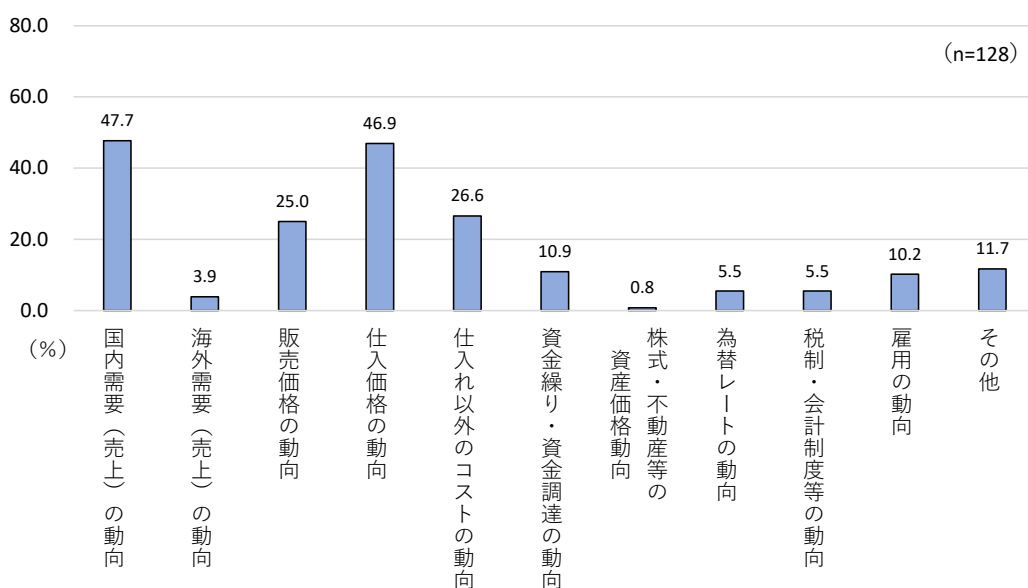
##### 「良い」と回答した理由



※業況判断の理由を明確化させるため、無回答は除いて集計・作表している。

※「その他」の記入内容：「新規入居希望者の増加」、「天候・気温の変化」、「人材不足による値上げ基調」、未記入1件

##### 「悪い」と回答した理由



※業況判断の理由を明確化させるため、無回答は除いて集計・作表している。

※「その他」の記入内容：「売上げの減少」、「入札受注減」、「猛暑が原因と思われる客数減少」、「技術売上」、「閑散期」、「天候」、「天候・猛暑」、「気温」、「人材不足」、「消費税」、「体調」、未記入4件

## (2) 主要項目のBSI・DI

### 【主要項目のBSI・DI】

主要項目	今期の状況と先行きの見通し
①売上BSI (増加%－減少%)	【今 期】 ▲13.4 と 2.8 ポイント上昇 (減少幅がやや縮小した) 【先行き】 来期は▲18.7 と今期よりも 5.3 ポイント低下する見通し
②経常損益BSI (好転%－悪化%)	【今 期】 ▲19.7 と 3.5 ポイント低下 (低調感がやや強まった) 【先行き】 来期は▲24.3 と今期よりも 4.6 ポイント低下する見通し
③資金繰りBSI (好転%－悪化%)	【今 期】 ▲12.9 と 2.1 ポイント上昇 (窮屈感がやや弱まった) 【先行き】 来期は▲16.0 と今期よりも 3.1 ポイント低下する見通し
④人材過不足DI (過剰%－不足%)	【今 期】 ▲28.5 と 1.5 ポイント上昇 (同様に推移した) 【先行き】 来期は▲27.5 と今期よりも 1.0 ポイント上昇する見通し
⑤生産設備DI (過剰%－不足%)	【今 期】 ▲2.4 と 2.9 ポイント低下 (不足感がやや強まった) 【先行き】 来期は▲3.0 と今期よりも 0.6 ポイント低下する見通し
⑥営業用設備DI (過剰%－不足%)	【今 期】 ▲5.9 と 3.9 ポイント低下 (不足感がやや強まった) 【先行き】 来期は▲6.8 と今期よりも 0.9 ポイント低下する見通し

BSI	2024年 1～3月 実績	2024年 4～6月 実績	今期－前期	2024年 7～9月 見通し	来期－今期	2024年 10～12月 見込み
	①売上BSI	▲ 16.2	▲ 13.4	2.8	▲ 18.7	▲ 5.3
②経常損益BSI	▲ 16.2	▲ 19.7	▲ 3.5	▲ 24.3	▲ 4.6	▲ 23.9
③資金繰りBSI	▲ 15.0	▲ 12.9	2.1	▲ 16.0	▲ 3.1	▲ 16.8
DI	2024年 1～3月 実績	2024年 4～6月 実績	今期－前期	2024年 7～9月 見通し	来期－今期	2024年 10～12月 見込み
	④人材過不足DI	▲ 30.0	▲ 28.5	1.5	▲ 27.5	1.0
⑤生産設備DI	0.5	▲ 2.4	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 0.6	▲ 4.1
⑥営業用設備DI	▲ 2.0	▲ 5.9	▲ 3.9	▲ 6.8	▲ 0.9	▲ 7.1

## ① 売上BSI

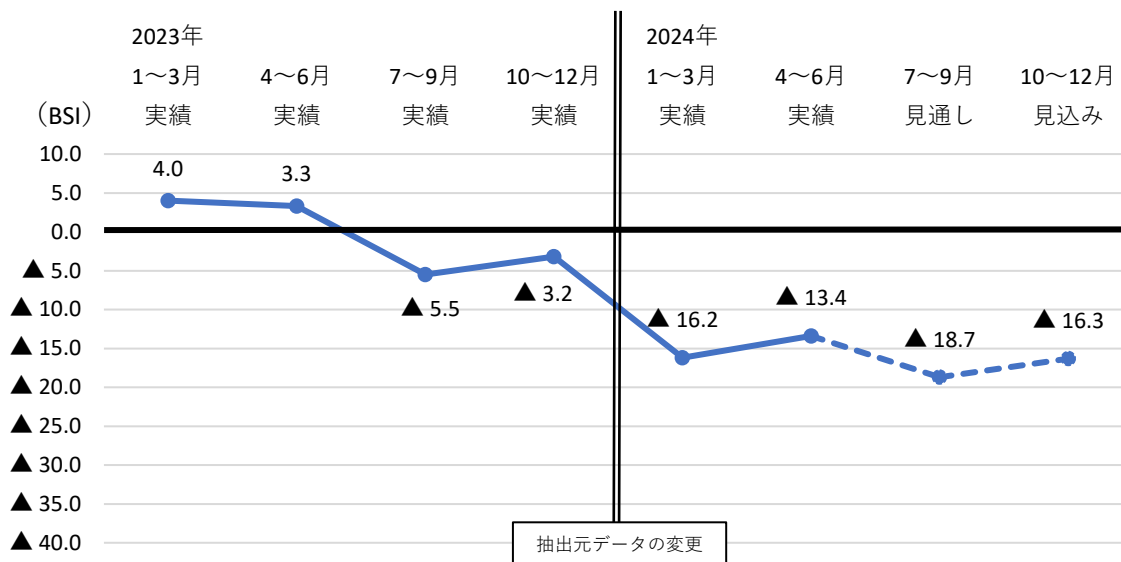
売上BSIは前期▲16.2から今期▲13.4へと減少幅がやや縮小した。

先行きについてみると、来期（2024年7～9月）は▲18.7と減少幅がやや拡大する見通しである。さらに来々期（2024年10～12月）は▲16.3と減少幅がやや縮小する見込みである。

従業員規模別にみると、21人以上で前期8.3から今期16.1へと増加幅が大きく拡大した。

業種別にみると、運輸・通信業（▲28.6→25.0）、飲食・宿泊業（▲28.6→18.7）で増加幅が極端に拡大した。

### 【売上BSI】



	売上BSI = 増加% - 減少%					
	2024年 1～3月 実績	2024年 4～6月 実績	2024年 7～9月 見通し	2024年 10～12月 見込み		
				今期 - 前期	来期 - 今期	
全体	▲16.2	▲13.4	▲18.7	▲5.3	▲16.3	
規模別	5人以下	▲24.5	▲21.1	▲29.2	▲8.1	▲23.9
	6人～20人	▲3.5	▲8.7	▲2.9	5.8	▲15.9
	21人以上	8.3	16.1	11.3	▲4.8	17.7
業種別	製造業	▲24.0	▲16.6	▲37.5	▲20.9	▲29.2
	非製造業	▲15.9	▲13.2	▲17.6	▲4.4	▲15.5
	建設業	▲11.0	▲15.8	▲14.6	1.2	▲18.0
	運輸・通信業	▲28.6	25.0	▲8.4	▲33.4	▲16.7
	卸・小売業	▲32.8	▲23.0	▲21.9	1.1	▲27.6
	飲食・宿泊業	▲28.6	18.7	▲37.5	▲56.2	▲6.2
	サービス業	▲5.3	▲14.4	▲24.4	▲10.0	▲7.8
その他非製造業	▲13.9	▲10.7	▲7.5	3.2	▲10.8	

## ② 経常損益BSI

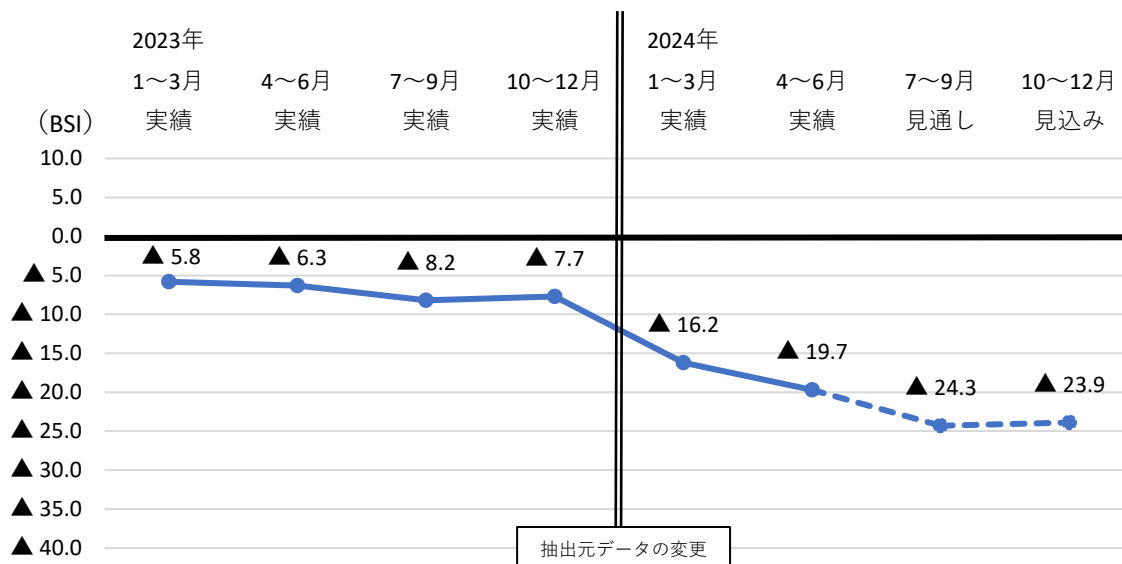
経常損益BSIは前期▲16.2から今期▲19.7へと低調感がやや強まった。

先行きについてみると、来期（2024年7～9月）は▲24.3と低調感がやや強まる見通しである。さらに来々期（2024年10～12月）は▲23.9と来期と同様で推移する見込みである。

従業員規模別にみると、5人以下で前期▲21.0から今期▲27.5へと低調感が大きく強まった。

業種別にみると、運輸・通信業で前期▲21.5から今期0.0へと低調感が極端に弱まった。

### 【経常損益BSI】



	経常損益BSI = 好転% - 悪化%						
	2024年 1～3月 実績	2024年 4～6月 実績	今期 - 前期	2024年 7～9月 見通し	来期 - 今期	2024年 10～12月 見込み	
全体	▲ 16.2	▲ 19.7	▲ 3.5	▲ 24.3	▲ 4.6	▲ 23.9	
規模別	5人以下	▲ 21.0	▲ 27.5	▲ 6.5	▲ 33.9	▲ 6.4	▲ 30.7
	6人～20人	▲ 10.3	▲ 11.6	▲ 1.3	▲ 2.9	8.7	▲ 14.5
	21人以上	0.0	6.4	6.4	▲ 4.9	▲ 11.3	▲ 3.2
業種別	製造業	▲ 28.0	▲ 25.0	3.0	▲ 41.7	▲ 16.7	▲ 41.6
	非製造業	▲ 15.7	▲ 19.4	▲ 3.7	▲ 23.3	▲ 3.9	▲ 22.7
	建設業	▲ 16.5	▲ 14.6	1.9	▲ 13.5	1.1	▲ 16.8
	運輸・通信業	▲ 21.5	0.0	21.5	▲ 8.4	▲ 8.4	▲ 25.0
	卸・小売業	▲ 17.2	▲ 31.0	▲ 13.8	▲ 32.2	▲ 1.2	▲ 36.8
	飲食・宿泊業	▲ 42.9	▲ 31.2	11.7	▲ 68.7	▲ 37.5	▲ 50.0
	サービス業	▲ 10.5	▲ 21.1	▲ 10.6	▲ 27.7	▲ 6.6	▲ 17.8
その他非製造業	▲ 14.0	▲ 11.8	2.2	▲ 14.0	▲ 2.2	▲ 15.1	

### ③ 資金繰りBSI

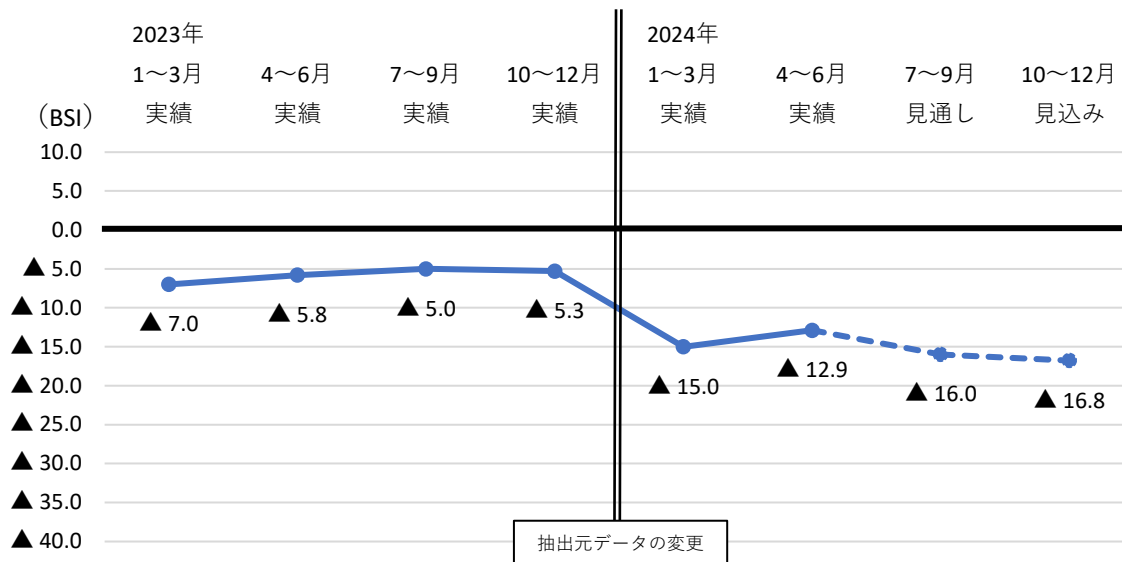
資金繰りBSIは前期▲15.0から今期▲12.9へと窮屈感がやや弱まった。

先行きについてみると、来期（2024年7～9月）は▲16.0と窮屈感がやや強まる見通しである。さらに来々期（2024年10～12月）は▲16.8と来期と同様で推移する見込みである。

従業員規模別にみると、21人以上で前期0.0から今期8.1へと容易さが大きく強まった。

業種別にみると、運輸・通信業で前期▲21.5から今期8.4へと容易さが極端に強まった。

#### 【資金繰りBSI】



		資金繰りBSI=好転%-悪化%						
		2024年		2024年		2024年		2024年
		1～3月 実績	4～6月 実績	今期-前期	7～9月 見通し	来期-今期	10～12月 見込み	
全体		▲ 15.0	▲ 12.9	2.1	▲ 16.0	▲ 3.1	▲ 16.8	
規 模 別	5人以下	▲ 19.7	▲ 18.6	1.1	▲ 22.5	▲ 3.9	▲ 22.5	
	6人～20人	▲ 6.9	▲ 8.7	▲ 1.8	▲ 5.8	2.9	▲ 8.7	
	21人以上	0.0	8.1	8.1	1.6	▲ 6.5	0.0	
業 種 別	製造業	▲ 16.0	▲ 4.2	11.8	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 16.6	
	非製造業	▲ 14.7	▲ 13.5	1.2	▲ 16.3	▲ 2.8	▲ 16.8	
	建設業	▲ 10.9	▲ 7.9	3.0	▲ 10.2	▲ 2.3	▲ 12.3	
	運輸・通信業	▲ 21.5	8.4	29.9	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	
	卸・小売業	▲ 27.6	▲ 19.5	8.1	▲ 23.0	▲ 3.5	▲ 20.7	
	飲食・宿泊業	▲ 14.3	▲ 31.2	▲ 16.9	▲ 50.0	▲ 18.8	▲ 37.5	
	サービス業	▲ 10.6	▲ 12.2	▲ 1.6	▲ 16.7	▲ 4.5	▲ 17.8	
	その他非製造業	▲ 11.6	▲ 14.0	▲ 2.4	▲ 10.8	3.2	▲ 13.9	

#### ④ 人材過不足D I

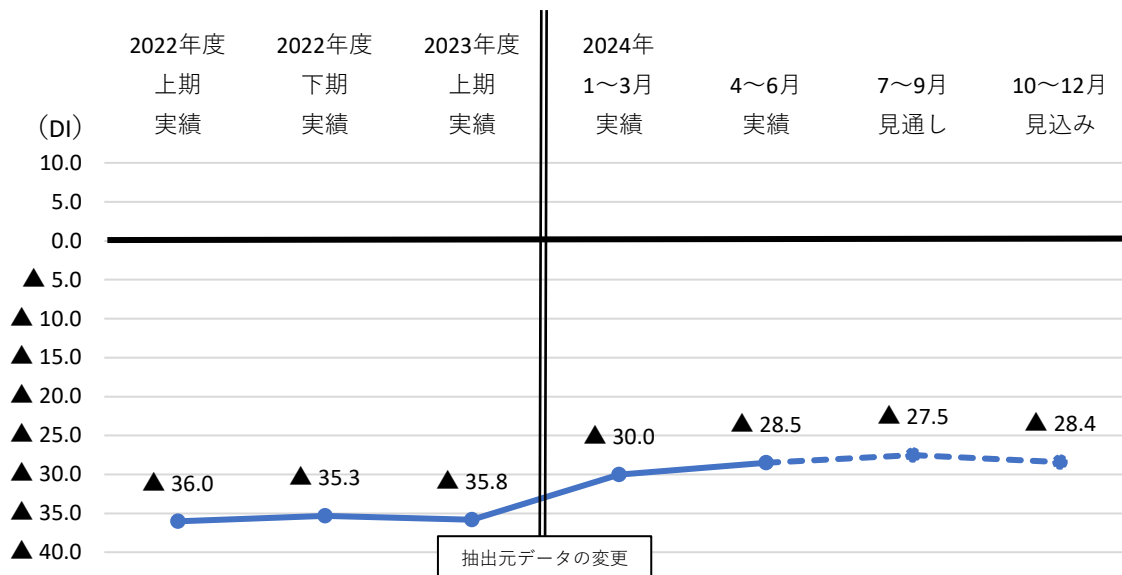
人材過不足D Iは前期▲30.0から今期▲28.5へと同様に推移した。

先行きについてみると、来期（2024年7～9月）は▲27.5と今期と同様に推移する見通しである。さらに来々期（2024年10～12月）は▲28.4と来期と同様に推移する見込みである。

従業員規模別にみると、21人以上で前期▲66.7から今期▲51.7へと不足感が大きく弱まった。

業種別にみると、飲食・宿泊業で前期▲28.6から今期▲68.8へと不足感が極端に強まった。

#### 【人材過不足D I】



		人材過不足DI=過剰%-不足%				
		2024年	2024年	2024年		2024年
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	
		実績	実績	見通し	来期-今期	見込み
全体		▲ 30.0	▲ 28.5	1.5	▲ 27.5	▲ 28.4
規模別	5人以下	▲ 24.5	▲ 21.7	2.8	▲ 20.4	▲ 21.4
	6人～20人	▲ 22.4	▲ 34.8	▲ 12.4	▲ 37.7	▲ 36.2
	21人以上	▲ 66.7	▲ 51.7	15.0	▲ 48.4	▲ 51.6
業種別	製造業	▲ 8.0	▲ 4.2	3.8	0.0	▲ 8.4
	非製造業	▲ 32.0	▲ 30.0	2.0	▲ 29.2	▲ 29.7
	建設業	▲ 46.6	▲ 41.6	5.0	▲ 40.5	▲ 41.6
	運輸・通信業	▲ 35.8	▲ 41.7	▲ 5.9	▲ 33.3	▲ 33.3
	卸・小売業	▲ 22.4	▲ 17.2	5.2	▲ 19.5	▲ 19.5
	飲食・宿泊業	▲ 28.6	▲ 68.8	▲ 40.2	▲ 62.5	▲ 56.3
	サービス業	▲ 43.4	▲ 36.7	6.7	▲ 34.5	▲ 34.4
	その他非製造業	▲ 15.1	▲ 16.1	▲ 1.0	▲ 16.1	▲ 18.3

## ⑤ 生産設備D I

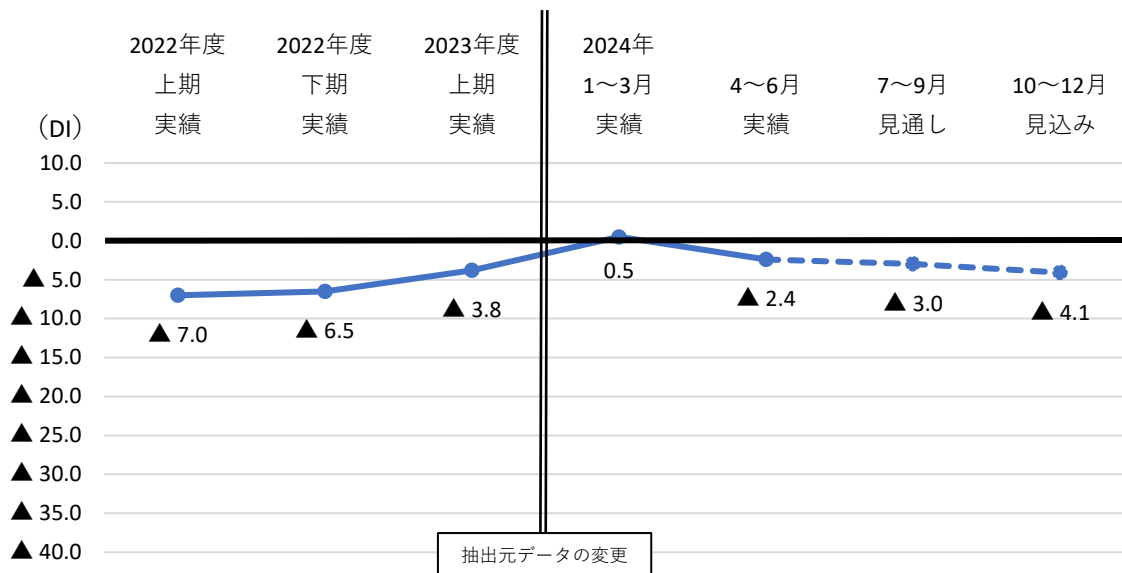
生産設備D Iは前期0.5から今期▲2.4へと不足感がやや強まった。

先行きについてみると、来期（2024年7～9月）は▲3.0と今期と同様で推移する見通しである。さらに来々期（2024年10～12月）は▲4.1と来期と同様で推移する見込みである。

従業員規模別にみると、6人～20人で前期3.4から今期▲2.9へと不足感が大きく強まった。

業種別にみると、製造業（12.0→4.2）、卸・小売業（1.7→▲5.7）で過剰感が大きく弱まった。

### 【生産設備D I】



		生産設備DI=過剰%-不足%					
		2024年 1～3月 実績	2024年 4～6月 実績	2024年 7～9月		2024年 10～12月 見込み	
				今期-前期	見通し		来期-今期
全体	0.5	▲ 2.4	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 0.6	▲ 4.1	
規模別	5人以下	0.0	▲ 2.5	▲ 2.5	▲ 3.2	▲ 0.7	▲ 3.6
	6人～20人	3.4	▲ 2.9	▲ 6.3	▲ 2.9	0.0	▲ 5.8
	21人以上	0.0	▲ 1.6	▲ 1.6	▲ 1.6	0.0	▲ 4.8
業種別	製造業	12.0	4.2	▲ 7.8	4.2	0.0	0.0
	非製造業	▲ 0.3	▲ 2.9	▲ 2.6	▲ 3.4	▲ 0.5	▲ 4.4
	建設業	▲ 4.1	0.0	4.1	▲ 3.4	▲ 3.4	▲ 5.6
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	卸・小売業	1.7	▲ 5.7	▲ 7.4	▲ 5.7	0.0	▲ 6.9
	飲食・宿泊業	▲ 14.3	▲ 18.8	▲ 4.5	▲ 18.8	0.0	▲ 18.8
	サービス業	1.3	▲ 2.2	▲ 3.5	▲ 1.1	1.1	▲ 2.2
その他非製造業	1.2	▲ 1.1	▲ 2.3	▲ 1.1	0.0	▲ 1.1	

## ⑥ 営業用設備D I

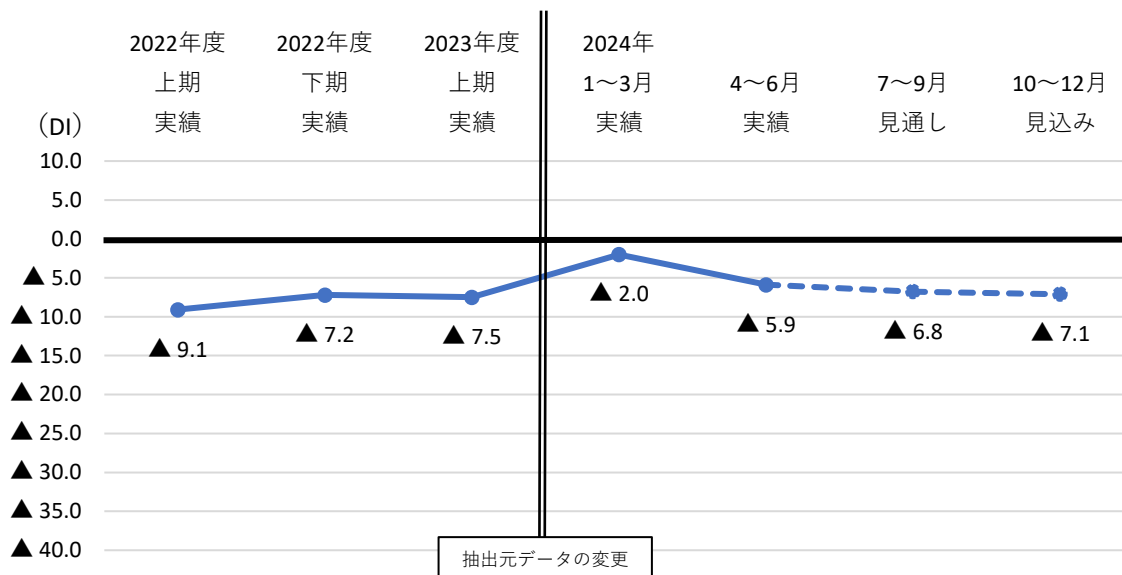
営業用設備D Iは前期▲2.0から今期▲5.9へ不足感がやや強まった。

先行きについてみると、来期（2024年7～9月）は▲6.8と今期と同様で推移する見通しである。さらに来々期（2024年10～12月）は▲7.1と来期と同様で推移する見込みである。

従業員規模別にみると、6人～20人で前期3.4から今期▲7.2へと過剰感が大きく弱まった。

業種別にみると、製造業（4.0→▲4.2）、運輸・通信業（7.1→0.0）で過剰感が大きく弱まった。

### 【営業用設備D I】



		営業用設備DI=過剰%-不足%					
		2024年 1～3月 実績	2024年 4～6月 実績	2024年 7～9月		2024年 10～12月 見込み	
				今期-前期	見通し		来期-今期
全体		▲ 2.0	▲ 5.9	▲ 3.9	▲ 6.8	▲ 0.9	▲ 7.1
規 模 別	5人以下	▲ 3.8	▲ 6.5	▲ 2.7	▲ 8.2	▲ 1.7	▲ 7.8
	6人～20人	3.4	▲ 7.2	▲ 10.6	▲ 5.8	1.4	▲ 7.2
	21人以上	0.0	▲ 1.6	▲ 1.6	▲ 1.6	0.0	▲ 3.2
業 種 別	製造業	4.0	▲ 4.2	▲ 8.2	▲ 4.2	0.0	▲ 4.2
	非製造業	▲ 2.5	▲ 5.9	▲ 3.4	▲ 7.0	▲ 1.1	▲ 7.2
	建設業	▲ 5.5	▲ 3.4	2.1	▲ 5.6	▲ 2.2	▲ 6.8
	運輸・通信業	7.1	0.0	▲ 7.1	0.0	0.0	▲ 8.3
	卸・小売業	▲ 5.2	▲ 8.1	▲ 2.9	▲ 8.1	0.0	▲ 9.2
	飲食・宿泊業	▲ 14.3	▲ 18.8	▲ 4.5	▲ 25.0	▲ 6.2	▲ 25.0
	サービス業	▲ 2.6	▲ 8.9	▲ 6.3	▲ 8.9	0.0	▲ 7.8
	その他非製造業	1.1	▲ 2.1	▲ 3.2	▲ 3.2	▲ 1.1	▲ 2.1



### (3) その他項目のBSI・DI

#### 【その他項目のBSI・DI】

主要項目	今期の状況と先行きの見通し
①国内需要BSI (拡大%—縮小%)	【今 期】 ▲12.9 と <u>8.2</u> ポイント上昇 (減少幅が大きく縮小した) 【先行き】 来期は▲16.0 と今期よりも <u>3.1</u> ポイント低下する見通し
②仕入価格BSI (上昇%—低下%)	【今 期】 44.8 と <u>0.4</u> ポイント上昇 (同様に推移した) 【先行き】 来期は 42.4 と今期よりも <u>2.4</u> ポイント低下する見通し
③販売価格BSI (上昇%—低下%)	【今 期】 9.0 と <u>0.5</u> ポイント上昇 (同様に推移した) 【先行き】 来期は 9.0 と今期と同様に推移する見通し
④人材採用DI (積極的%—消極的%)	【今 期】 ▲25.0 と <u>0.9</u> ポイント上昇 (同様に推移した) 【先行き】 来期は▲25.3 と今期よりも <u>0.3</u> ポイント低下する見通し

BSI	2024年 1～3月 実績	2024年 4～6月 実績	今期－前期	2024年 7～9月 見通し	来期－今期	2024年 10～12月 見込み
	①国内需要BSI	▲ 21.1	▲ 12.9	8.2	▲ 16.0	▲ 3.1
②仕入価格BSI	44.4	44.8	0.4	42.4	▲ 2.4	40.6
③販売価格BSI	8.5	9.0	0.5	9.0	0.0	9.7
DI	2024年 1～3月 実績	2024年 4～6月 実績	今期－前期	2024年 7～9月 見通し	来期－今期	2024年 10～12月 見込み
	④人材採用DI	▲ 25.9	▲ 25.0	0.9	▲ 25.3	▲ 0.3

## ① 国内需要BSI

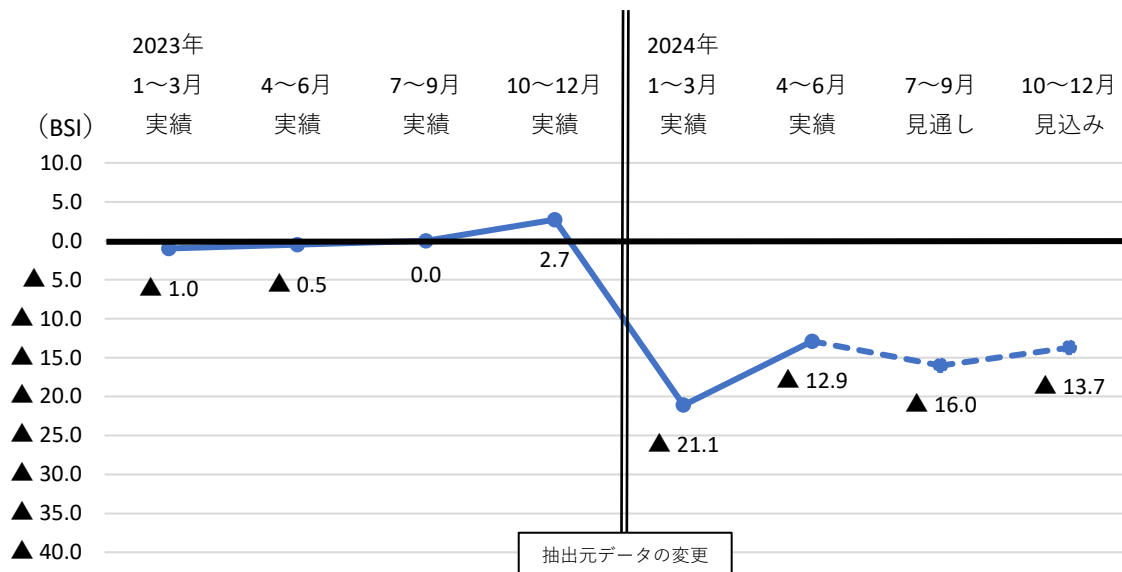
国内需要BSIは前期▲21.1から今期▲12.9へと減少幅が大きく縮小した。

先行きについてみると、来期（2024年7～9月）は▲16.0と減少幅がやや拡大する見通しである。さらに来々期（2024年10～12月）は▲13.7と減少幅がやや縮小する見込みである。

従業員規模別にみると、6人～20人（▲24.1→▲7.3）、21人以上（▲4.2→11.3）で減少幅が大きく縮小した。

業種別にみると、運輸・通信業（▲28.6→▲8.3）、飲食・宿泊業（▲42.9→6.3）で減少幅が極端に縮小した。

### 【国内需要BSI】



		国内需要BSI = 拡大% - 縮小%					
		2024年 1～3月 実績	2024年 4～6月 実績		2024年 7～9月 見通し		2024年 10～12月 見込み
			今期 - 前期	来期 - 今期			
全体		▲21.1	▲12.9	8.2	▲16.0	▲3.1	▲13.7
規模別	5人以下	▲24.0	▲19.7	4.3	▲26.1	▲6.4	▲22.1
	6人～20人	▲24.1	▲7.3	16.8	4.3	11.6	▲1.4
	21人以上	▲4.2	11.3	15.5	6.4	▲4.9	11.3
業種別	製造業	▲32.0	▲37.5	▲5.5	▲41.6	▲4.1	▲33.4
	非製造業	▲20.8	▲11.3	9.5	▲14.5	▲3.2	▲12.4
	建設業	▲17.8	▲9.0	8.8	▲7.9	1.1	▲11.2
	運輸・通信業	▲28.6	▲8.3	20.3	0.0	8.3	▲8.4
	卸・小売業	▲34.5	▲20.7	13.8	▲25.3	▲4.6	▲24.1
	飲食・宿泊業	▲42.9	6.3	49.2	▲12.5	▲18.8	12.5
	サービス業	▲13.2	▲11.1	2.1	▲18.8	▲7.7	▲5.6
	その他非製造業	▲16.2	▲8.6	7.6	▲8.6	0.0	▲13.9

## ② 仕入価格BSI

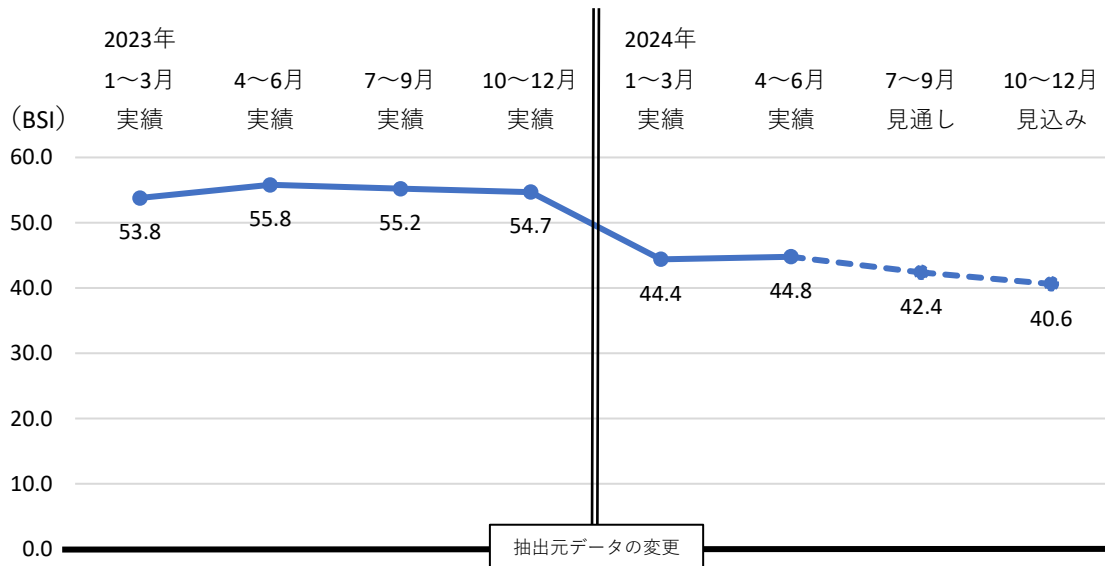
仕入価格BSIは前期44.4から今期44.8へと同様に推移した。

先行きについてみると、来期（2024年7～9月）は42.4と上昇傾向がやや弱まる見通しである。さらに来々期（2024年10～12月）は40.6と来期と同様に推移する見込みである。

従業員規模別にみると、21人以上で前期64.6から今期54.9へと上昇傾向が大きく弱まった。

業種別にみると、運輸・通信業で前期21.5から今期41.7へと上昇傾向が大きく強まった。

### 【仕入価格BSI】



		仕入価格BSI = 上昇% - 低下%					
		2024年 1～3月 実績	2024年 4～6月 実績	今期 - 前期	2024年 7～9月 見通し	来期 - 今期	2024年 10～12月 見込み
全体		44.4	44.8	0.4	42.4	▲ 2.4	40.6
規 模 別	5人以下	37.7	40.4	2.7	36.5	▲ 3.9	36.7
	6人～20人	53.5	53.6	0.1	53.7	0.1	49.3
	21人以上	64.6	54.9	▲ 9.7	56.5	1.6	48.4
業 種 別	製造業	56.0	62.5	6.5	58.3	▲ 4.2	58.3
	非製造業	43.1	43.7	0.6	41.3	▲ 2.4	39.5
	建設業	50.7	51.7	1.0	50.6	▲ 1.1	47.2
	運輸・通信業	21.5	41.7	20.2	41.7	0.0	33.3
	卸・小売業	69.0	62.1	▲ 6.9	62.1	0.0	58.6
	飲食・宿泊業	71.4	68.7	▲ 2.7	62.5	▲ 6.2	68.7
	サービス業	34.2	34.4	0.2	33.3	▲ 1.1	34.4
その他非製造業	29.1	23.6	▲ 5.5	17.2	▲ 6.4	15.1	

### ③ 販売価格BSI

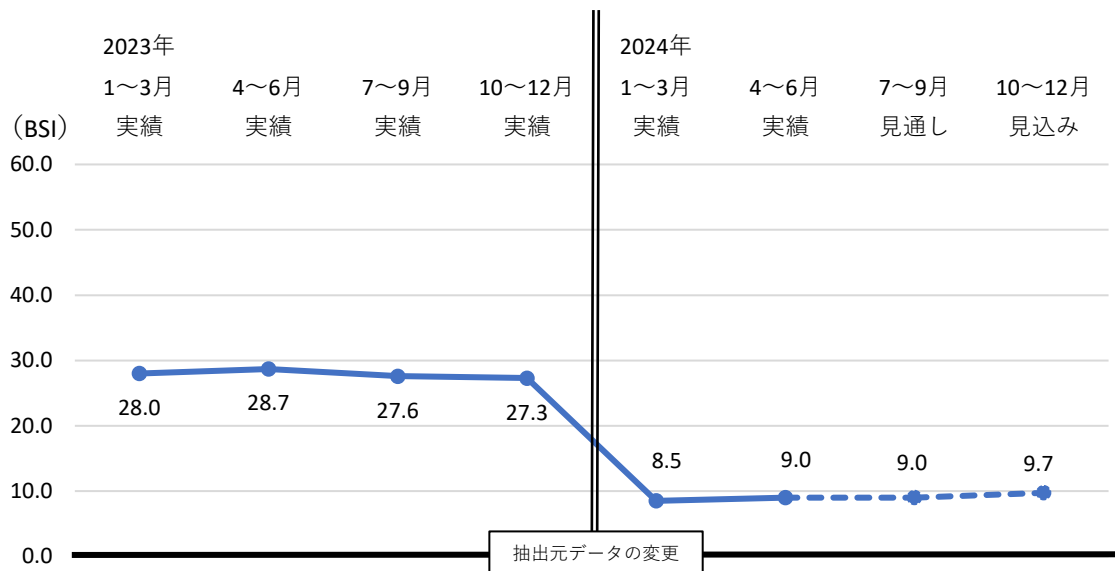
販売価格BSIは前期8.5から今期9.0へと同様に推移した。

先行きについてみると、来期（2024年7～9月）は9.0と今期と同様に推移する見通しである。さらに来々期（2024年10～12月）は9.7と来期と同様に推移する見込みである。

従業員規模別にみると、6人～20人で前期24.1から今期7.2へと上昇傾向が大きく弱まった。

業種別にみると、製造業（8.0→16.7）、運輸・通信業（0.0→8.4）で上昇傾向が大きく強まった。

#### 【販売価格BSI】



		販売価格BSI = 上昇% - 低下%					
		2024年 1～3月 実績	2024年 4～6月 実績	今期 - 前期	2024年 7～9月 見通し	来期 - 今期	2024年 10～12月 見込み
全体		8.5	9.0	0.5	9.0	0.0	9.7
規 模 別	5人以下	1.7	5.4	3.7	5.0	▲ 0.4	6.1
	6人～20人	24.1	7.2	▲ 16.9	10.2	3.0	5.8
	21人以上	22.9	27.4	4.5	25.8	▲ 1.6	30.7
業 種 別	製造業	8.0	16.7	8.7	8.4	▲ 8.3	4.2
	非製造業	8.6	8.5	▲ 0.1	9.0	0.5	10.1
	建設業	5.5	9.0	3.5	6.7	▲ 2.3	2.2
	運輸・通信業	0.0	8.4	8.4	8.4	0.0	8.4
	卸・小売業	29.3	26.4	▲ 2.9	31.0	4.6	33.3
	飲食・宿泊業	14.3	6.2	▲ 8.1	12.5	6.3	18.8
	サービス業	9.2	6.7	▲ 2.5	4.5	▲ 2.2	8.9
	その他非製造業	▲ 2.4	▲ 6.4	▲ 4.0	▲ 5.3	1.1	▲ 4.3

#### ④ 人材採用D I

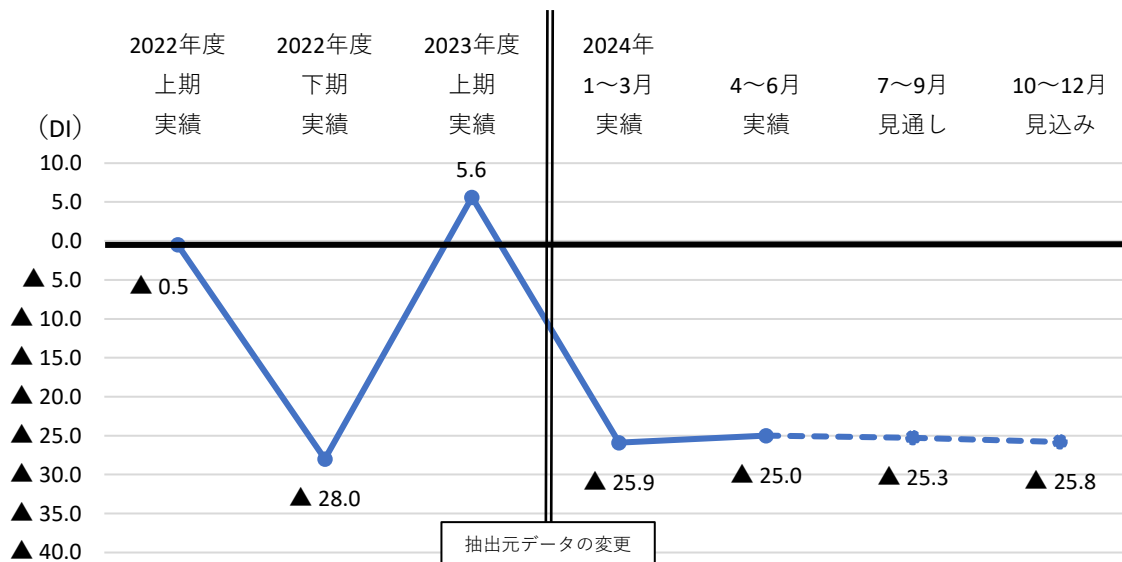
人材採用D Iは前期▲25.9から今期▲25.0へと同様に推移した。

先行きについてみると、来期（2024年7～9月）は▲25.3と今期と同様に推移する見通しである。さらに来々期（2024年10～12月）は▲25.8と来期と同様に推移する見込みである。

従業員規模別にみると、6人～20人で前期▲1.7から今期▲4.3へと消極性がやや強まった。

業種別にみると、その他非製造業で前期▲47.7から今期▲29.1へと消極性が大きく弱まった。

#### 【人材採用D I】



		人材採用DI = 積極的% - 消極的%					
		2024年 1～3月 実績	2024年 4～6月 実績	今期 - 前期	2024年 7～9月 見通し	来期 - 今期	2024年 10～12月 見込み
全体		▲25.9	▲25.0	0.9	▲25.3	▲0.3	▲25.8
規模別	5人以下	▲45.9	▲45.7	0.2	▲46.1	▲0.4	▲45.7
	6人～20人	▲1.7	▲4.3	▲2.6	▲5.8	▲1.5	▲8.7
	21人以上	43.7	45.2	1.5	46.8	1.6	45.2
業種別	製造業	▲36.0	▲33.3	2.7	▲37.5	▲4.2	▲37.5
	非製造業	▲25.3	▲24.5	0.8	▲24.6	▲0.1	▲25.1
	建設業	▲9.6	▲10.1	▲0.5	▲9.0	1.1	▲7.9
	運輸・通信業	▲7.2	0.0	7.2	0.0	0.0	0.0
	卸・小売業	▲36.2	▲36.8	▲0.6	▲36.8	0.0	▲35.7
	飲食・宿泊業	▲28.6	▲31.3	▲2.7	▲37.5	▲6.2	▲43.7
	サービス業	▲7.9	▲24.5	▲16.6	▲23.3	1.2	▲24.4
その他非製造業	▲47.7	▲29.1	18.6	▲30.1	▲1.0	▲32.3	

## (4) 設備投資に関する現況

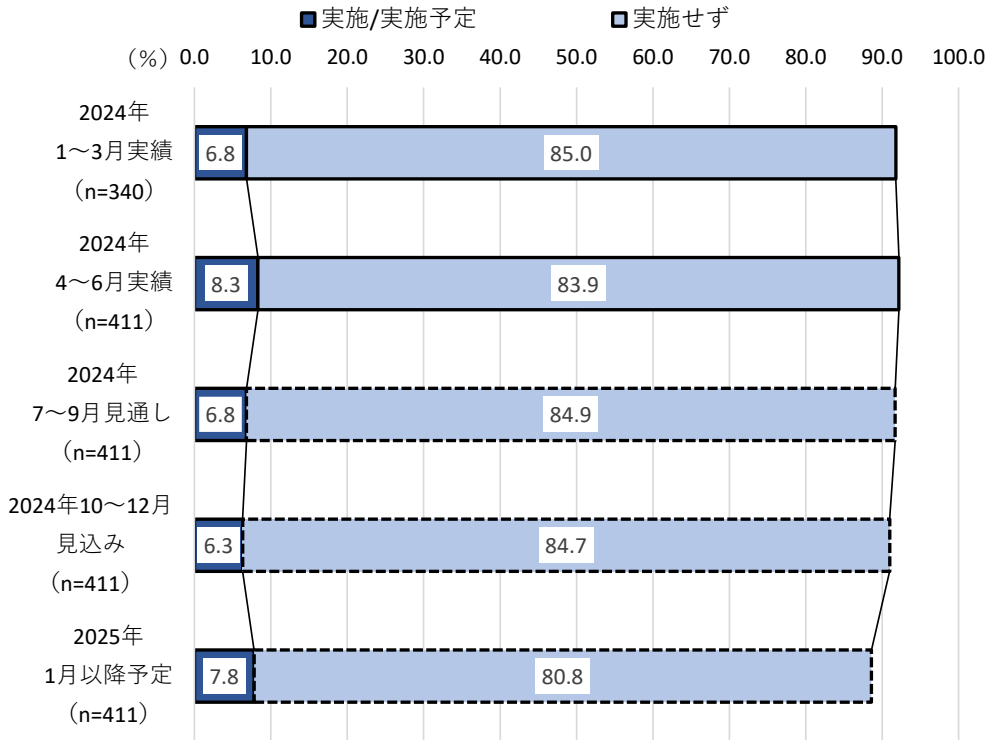
### ① 設備投資

設備投資を「実施/実施予定」と回答した企業は前期 6.8%から今期 8.3%へと 1.5 ポイント増加した。先行きについてみると、2024 年 7～9 月以降は 6～7%台で推移する見通しである。

規模別にみると、21 人以上で 2024 年 4～6 月の「実施/実施予定」の割合が 19.4%と全体を大きく上回る値であった。

業種別にみると、運輸・通信業で 2024 年 4～6 月の「実施/実施予定」の割合が 25.0%と全体を大きく上回る値であった。

#### 【設備投資】



	全体	設備投資								
		2024年 4～6月 実績		2024年 7～9月 見通し		2024年 10～12月 見込み		2025年 1月以降 予定		
		実施	実施せず	実施予定	実施せず	実施予定	実施せず	実施予定	実施せず	
全体	411	8.3	83.9	6.8	84.9	6.3	84.7	7.8	80.8	
規模別	5人以下	280	5.4	87.5	4.6	87.9	3.9	87.9	5.0	83.6
	6人～20人	69	10.1	79.7	7.2	82.6	5.8	82.6	5.8	82.6
	21人以上	62	19.4	72.6	16.1	74.2	17.7	72.6	22.6	66.1
業種別	製造業	24	12.5	83.3	16.7	79.2	12.5	83.3	12.5	75.0
	非製造業	387	8.0	84.0	6.2	85.3	5.9	84.8	7.5	81.1
	建設業	89	5.6	91.0	2.2	93.3	3.4	92.1	5.6	89.9
	運輸・通信業	12	25.0	58.3	8.3	75.0	8.3	75.0	8.3	75.0
	卸・小売業	87	3.4	83.9	5.7	80.5	2.3	81.6	0.0	81.6
	飲食・宿泊業	16	12.5	81.3	12.5	81.3	25.0	68.8	12.5	75.0
	サービス業	90	11.1	84.4	6.7	88.9	8.9	84.4	12.2	76.7
その他非製造業	93	8.6	80.6	8.6	80.6	5.4	84.9	10.8	78.5	

※設備投資の有無を明確化させるため、無回答は除いて作表している。

# ●資料編

## (1) 調査票

### 千葉市企業動向調査（2024年度 第2回）調査票

インターネットでご回答の場合は、下記いずれかの方法でアクセスの上、ご回答ください。

①URL ([https://apply.e-tumo.jp/city-chiba-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=33641](https://apply.e-tumo.jp/city-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=33641))  
を直接入力

②右記 QR コードからアクセス

※ほぼ全てのブラウザに対応していますが、Google Chrome でのアクセスを推奨しています。



ご記入者	企業・事業所名：	部課名：	役職：	
	ご芳名：	電話番号：	メールアドレス：	
業種 (最も近いものに○をつけてください。)	1. 製造業 4. 情報通信業 7. 金融業、保険業 10. 宿泊業、飲食サービス業 13. 医療、福祉	2. 建設業 5. 運輸業、郵便業 8. 不動産業、物品賃貸業 11. 生活関連サービス業、娯楽業 14. サービス業 (他に分類されないもの)	3. 電気・ガス・熱供給・水道業 6. 卸売業、小売業 9. 学術研究、専門・技術サービス業 12. 教育、学習支援業	
従業者数 (パート・臨時を含む。該当の番号に○をつけてください。)	※貴事業所が本社・本店の場合は全事業所を通じての人数をご回答ください。			
	1. 1人	2. 2~5人	3. 6~10人	4. 11~20人
	6. 31~50人	7. 51~100人	8. 101~200人	9. 201~300人
				10. 301人以上

#### 最近の経営状況について

問1 貴事業所の「業況」について、①各期の一期前と比較（「2024年4月～6月の場合、「2024年1月～3月」と比較します）した上で、各項目の1～3のうち該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。  
また、その理由を右側の選択肢一覧から選び、番号を「②判断理由」に左詰めでご記入ください（最大3つまで回答可）。

	①貴事業所の業況 (前期比) (1~3のいずれか1つに○)			②判断理由 (右から選択し記入)		
2024年4月～6月実績	1 良い	2 普通	3 悪い			
2024年7月～9月見通し	1 良い	2 普通	3 悪い			
2024年10月～12月見込み	1 良い	2 普通	3 悪い			

#### 【②判断理由 選択肢一覧】

- 1 国内需要 (売上) の動向
- 2 海外需要 (売上) の動向
- 3 販売価格の動向
- 4 仕入価格の動向
- 5 仕入れ以外のコストの動向
- 6 資金繰り・資金調達の動向
- 7 株式・不動産等の  
資産価格動向
- 8 為替レートの動向
- 9 税制・会計制度等の動向
- 10 雇用の動向
- 11 その他 ( )

問2 貴事業所の「売上」、「経常損益」について、各期の一期前と比較した上で、各項目の1～3のうち該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。

	売上 (前期比)			経常損益 (前期比)		
2024年4月～6月実績	1 増加	2 不変	3 減少	1 好転	2 不変	3 悪化
2024年7月～9月見通し	1 増加	2 不変	3 減少	1 好転	2 不変	3 悪化
2024年10月～12月見込み	1 増加	2 不変	3 減少	1 好転	2 不変	3 悪化

問3 貴事業所の「国内需要」、「資金繰り」について、各期の一期前と比較した上で、各項目の1～3のうち該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。

	国内需要 (前期比)			資金繰り (前期比)		
2024年4月～6月実績	1 拡大	2 不変	3 縮小	1 好転	2 不変	3 悪化
2024年7月～9月見通し	1 拡大	2 不変	3 縮小	1 好転	2 不変	3 悪化
2024年10月～12月見込み	1 拡大	2 不変	3 縮小	1 好転	2 不変	3 悪化

問4 貴事業所の「仕入価格」、「販売価格」について、各期の一期前と比較した上で、各項目の1~3のうち該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。

	仕入価格（前期比）			販売価格（前期比）		
	1 上昇	2 不変	3 低下	1 上昇	2 不変	3 低下
2024年4月～6月実績						
2024年7月～9月見通し						
2024年10月～12月見込み						

問5 貴事業所の「人材過不足」、「人材採用」について、各期の一期前と比較した上で、各項目の1~3のうち該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。

	人材過不足（前期比）			人材採用（前期比）		
	1 過剰	2 適正	3 不足	1 積極的	2 普通	3 消極的
2024年4月～6月実績						
2024年7月～9月見通し						
2024年10月～12月見込み						

問6 貴事業所の「生産設備（製造業のみ）」、「営業用設備」について、各期の一期前と比較した上で、各項目の1~3のうち該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。

	生産設備（前期比）			営業用設備（前期比）		
	1 過剰	2 適正	3 不足	1 過剰	2 適正	3 不足
2024年4月～6月実績						
2024年7月～9月見通し						
2024年10月～12月見込み						

問7 貴事業所の「設備投資の有無」及び「設備投資額」をご記入ください（土地投資を含みます）。

	設備投資		→	設備投資額 (左記で「2 実施、実施予定」の方のみ)	
	1 実施せず	2 実施		万円	
2024年4月～6月実績			→		万円
2024年7月～9月見通し			→		万円
2024年10月～12月見込み			→		万円
2025年1月以降 (「2 実施予定」の方は 予定時期も記入)			→		万円
	年 月 頃				

問8 現在必要としている支援やサポート、並びに千葉市に期待することについて、具体的にご記入ください。

【必要な支援やサポート】
【千葉市に期待すること】

問9 本アンケートの回答を踏まえた、市の事業者支援についてご案内を希望されますか。該当する番号1つに○をつけてください。

1 希望する	2 希望しない
--------	---------

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

アンケート用紙は同封の返信用封筒で2024年**8月21日（水）**までに到着するよう返送してください。


※インターネットでご回答いただいた場合、ご返送は不要です。



## (2) 同封チラシ

# NEW!

## 令和6年4月スタート

Road to  
900  
since 1126

# 脱炭素社会に向けての新制度！

## カーボンニュートラル特例奨励補助制度

(1) 対象企業


所有型

または

累積投資型

の認定企業

(2) 対象設備

(1) 経済産業省の省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業の先進事業として認められた対象設備	<p>流体攪拌装置、雰田気再生装置、高効率空調、産業ヒートポンプ、業務用給湯器、高性能ボイラ、高効率コージェネレーション、低炭素工業炉、変圧器、冷凍冷蔵設備、産業用モータ、制御機能付きLED照明器具、工作機械、プラスチック加工機械、プレス機械、印刷機械、ダイカストマシン</p> <p>※参考ホームページアドレス (一社)環境共創イニシアチブ <a href="https://sii.or.jp/">https://sii.or.jp/</a></p>  <p>※対象品目については個別にお問い合わせください。</p>
(2) 経済産業省の省エネルギー投資促進支援事業の指定設備導入事業として認められた対象設備	
(3) その他、国等の認証基準を満たすカーボンニュートラル関連設備	

(3) 補助内容

新港地区	其他地区
①補助金額 対象設備の【固定資産税】×100%	①補助金額 対象設備の【固定資産税】×50%

②上限額 1,000万円 (1つの対象設備につき1回のみ)

(4) お手続きについて ※「所有型」または「累積投資型」の補助金のお手続きの中で申請可能です！

事業計画申請

→

設備投資

→

操業開始

→

交付申請


→

実績報告

→

請求

千葉市企業立地  
パンフレット2024  
※詳しくはこちら



### お問い合わせ



**千葉市役所経済農政局経済部企業立地課**  
(所在) 千葉市中央区千葉港1-1  
千葉市役所新庁舎高層棟7階  
(電話) 043-245-5276

25

# 千葉県事業承継・引継ぎ支援センターのご案内

事業承継・引継ぎ支援センターは、

## 事業承継に悩むすべての中小企業を 全力でサポートします!



あらゆる事業承継について、お気軽にご相談ください。

下記に記載の上、FAXして頂けると相談申込できます。

相談  
無料

### 043-305-5273

千葉県事業承継・引継ぎ支援センター宛

お申込日 年 月 日

(フリガナ)		(フリガナ)	
事業者名		代表者名	( 姓 )
所在地	〒	(フリガナ)	代表者との関係性
		相談者	( )
		業 種	
従業員数	人(うちパート 人)	資本金	万円
①固定電話		②携帯電話	
③メールアドレス			
希望連絡方法	ご希望の連絡方法を以下の□にチェック/してください。 <input type="checkbox"/> ①固定電話へのご連絡 <input type="checkbox"/> ②携帯電話へのご連絡 <input type="checkbox"/> ③メールでのご連絡		
ご相談内容	該当するご相談内容を以下の□にチェック/してください。(複数チェック可) <input type="checkbox"/> 親族内承継 <input type="checkbox"/> 親族外承継 ( <input type="checkbox"/> 従業員等 <input type="checkbox"/> 譲渡 <input type="checkbox"/> 譲受 ) <input type="checkbox"/> 廃業 <input type="checkbox"/> その他全般		
具体的な相談内容	簡単にご記入ください。		

※ご記入いただいた情報、相談内容は秘密情報として厳重に管理いたします。(秘密厳守)  
 ※ご記入いただいたご連絡先は、ご相談に係る連絡等のほか、当該相談員からの各種連絡・情報提供に使用される場合があります。

**国が設置した公的機関だから安心!**

お問い合わせ先 千葉県事業承継・引継ぎ支援センター TEL 043-305-5272 FAX 043-305-5273

千葉県千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館12階 【開所時間 平日9:00~17:00】

# ICT生産性向上・ 事業変革促進支援 補助金

生産性向上や環境変化への対応のために必要となる  
クラウドサービスなどの導入経費を補助します

最大

400

万円



利用者の声  
薬局経営 S様

従来、薬剤師の目視で実施していた処方箋と薬剤との突合業務（監査）について、補助金を活用し新たなシステムを導入。

<効果>

- ①絶対に間違えられない作業であるが、システム化により**薬剤師の心理負担軽減**に寄与！  
⇒職員の満足度向上により雇用の安定化！
- ②監査業務時間 **141時間/月の削減**！  
⇒時間外業務の削減・他業務に時間を回せるようになり生産性が向上！

詳しくは…

公益財団法人千葉市産業振興財団

☎ 043-201-9506 ✉ [sangyosozo@chibashi-sangyo.or.jp](mailto:sangyosozo@chibashi-sangyo.or.jp)

※公益財団法人千葉市産業振興財団は、千葉市内の事業者の経営支援・成長支援を行う千葉市の外郭団体です



WEBサイト

**千葉市企業動向調査（第 12 回/2024 年度第 2 回）**

発行:千葉市経済農政局経済部経済企画課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港 1 番 1 号

電話:043-245-5359 FAX:043-245-5558